



三高レジェンド2015



文化の秋 スポーツの秋 読書の秋 食欲の秋 受験の秋...



MITOYA

島根三刀屋
県立高校

蒼雲

学校だより
第101号

【発行所】
三刀屋高等学校
〒690-2404
雲南市三刀屋町
三刀屋912-2
TEL: 0854-45-2721
FAX: 0854-45-5630

【印刷所】
有限会社木次印刷
〒699-1312
雲南市木次町山方
630-5
TEL: 0854-42-8133
FAX: 0854-42-8155

2016全国切符

【男女ソフトボール部】
3月 全国高等学校選抜大会へ

【書道部】
8月 全国高等学校総合文化祭へ

三刀屋高校
2015. 秋 発行

料金：お金で買えます別列

男子ソフトボール
女子ソフトボール

島根県高校新人戦
(10/24~25、三刀屋高校グラウンド)

2面参照



島根県高校新人戦アベック優勝
3月の全国選抜大会出場権獲得

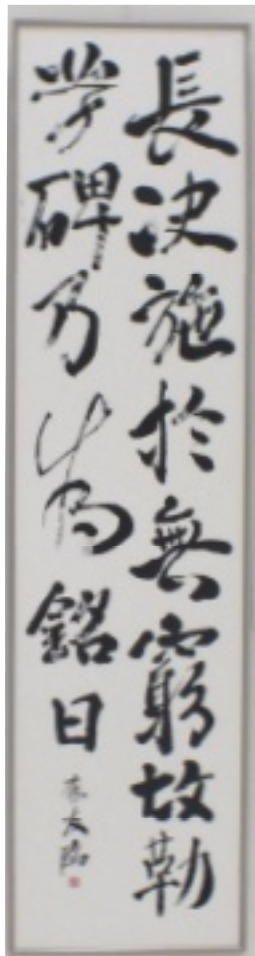
書道

島根県高校書道展

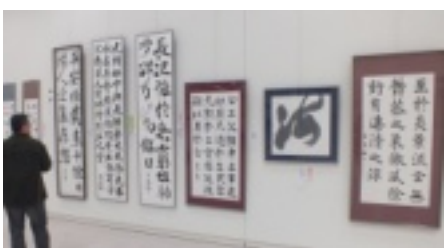
(10/29~11/1、県立美術館)



書道部2年連続快挙!
黒目さん(2年)が全国高総文祭出場へ



『臨温泉銘』
黒目麻友(2年)



写真の右手前から6点が三高書道部員の作品

高文連が主催する島根県高校書道展が10月29日からの4日間、松江市の県立美術館で開催された。県内23校から183点が出展され、来年度の全国高等学校総合文化祭広島大会への出品推薦作3点のうち、本校書道部員の黒目麻友さん(2年)の作品『臨温泉銘』が選ばれた。昨年は同学年の妹尾有真さんの作品が選出され、今年の夏に滋賀県で開催され

た全国大会に参加した。同一人物が連続で選出されることは無いが、これまで同一校から連続で選出されることもなかった。それほどの快挙を部員一同で喜んだ。その他の受賞者は次の通り。

▼優秀賞(全体で4点)

妹尾有真(2年) 『臨張猛龍碑』
奨励賞(各校1点)
廣澤真奈(3年) 『海』

▼入選

神田亜林(3年) 『臨奉橋帖』
西村美夏(2年) 『臨九成宮醴泉銘』
渡部真夕(1年) 『臨蘇慈墓誌銘』

励ましあい、目標に向かって最後まで頑張ります。

大学入試センター試験まであと57日

互いの活躍を励みに高みを目指す三高生！いつかきっと自分も！と闘志を燃やす2015年秋

女子の進撃を横目に一年間の挫折を味わった男子ソフトボール部、仲間と切磋琢磨して精進を重ねた書道部の黒目さん、近くには互いを刺激し合う大きな存在がいた。体育系・文化系を問わず、そんな存在が自分を大きくしてくれるに違いない。

如己愛人

大人でも大変！
一人で抱え込まないで！
先月、厚生労働省の事務方トップの村木厚子事務次官が退任した。2009年のいわゆる郵便不正事件で逮捕されたながらも、冤罪だったことが証明され、無罪確定後に事務次官を2年務めた▼退任あいさつの中で村木氏は次のように語った。「自分が支える側にいると間違った優越感を持っていた。誰もが支えてもらわな」といけなくなることを実感した。また、逮捕された当時を振り返り、「突然困難に直面した時は、プロや身近な人たちの支えが力になる。病氣や介護、失業も同じ」と厚労官僚らしい言葉で締めくくった▼特殊詐欺も未だに後をたたないが、被害者は誰にも相談できずに深みにはまり、問題が一層大きくなる。病氣、介護、特殊詐欺、そして学校でのいじめも同じだろう。何事も、困った時には一人で抱え込まず、相談することが大切と日頃から意識しておきたい。自分だけは大丈夫と思うからこそ、非常時に相談することをためらってしまうのかもしれない▼相談しやすい環境整備が一層求められるが、実は匿名でも相談できる窓口はたくさんある。本当に必要とする時、すぐに連絡先電話番号が分かるよう、県が昨年度に配布した「子ども・若者支援マップ」が職員室前にも掲示してある。生徒の皆さんには覚えておいてもらいたい。そんなことを再確認する機会にもしたい。(編集長記)

互いの活躍を励みに高みを目指す三高生！いつかきっと自分も！と闘志を燃やす2015年秋

今号の記事は11月8日分までです



ソフトボール

島根県高校新人戦

(10/24~25、三刀屋高校グラウンド)

優勝

来春の全国選抜大会出場へ

男子 2年振り (3/20~23、静岡県富士宮市)

女子 7年連続 (3/19~22、千葉県成田市)

※男女ともに、3月の全国高校選抜大会への出場権を獲得。また、今大会の男女1~2位校は、今月13日~15日に鳥取市で開催された中国新人大会に出場しました。

- 【男子】 決勝 三刀屋10・3安来 (5回コールド) ※2年ぶりの優勝
【女子】 準々決勝 三刀屋48・1明誠 (5回コールド)
準決勝 三刀屋8・2大東
決勝 三刀屋7・0出雲商業 (5回コールド) ※7年連続優勝



水泳

中国高校選手権

(10/24~25、山口市)

吉川さん決勝進出

- 男子200m平泳ぎ 吉川航輝(1年) 2分29秒56 決勝10位
男子100m平泳ぎ 吉川航輝(1年) 1分10秒85 予選16位

バスケットボール

島根県高校選手権

男子 エイト入り逃す

中盤まで五角の勝負 2回戦



(10/30~11/1、カミアリーナ)

男子は準々決勝進出をかけた松江北高と対戦し、前半は僅差のシーソーゲーム。第3クォーター序盤に27点に追いついた所までは全くの五角の勝負だったが、その後相手に連続得点を許す一方、三高のシュートは度々リングに嫌われて差を広げられベストエイ

柔道

島根県高校新人戦

(10/31~11/1 県立武道館)

定本さん5位

【男子個人】

定本大地(2年)

決勝トーナメント進出 5位

【男子団体】

三刀屋1・④出雲工業

順位決定戦

三刀屋0・③出雲西

剣道

島根県高校新人戦

(10/31、大田市総合体育館)

【男子個人】

安部 勝久(2年)

3回戦敗退

速報

主催：雲南市教育委員会 11/14(土) チェリヴァホール大会議室

UNNANディベート選手権

【論題】 「日本は18歳以上の国民に選挙権・被選挙権を認めるべきである。是か非か。」

高校の部(1チーム4名) 第1位 三刀屋高校

- 勝部 聡(3年)
西村 和紀(3年)
林 貴太(3年)
藤原 匠吾(3年)



地元の事例も盛り込んで、説得力ある展開で勝利!

卓球

第11回雲南市卓球大会

(10/25、アスパル)

【女子団体】

三刀屋高校A 第3位

野球

出雲地区1年生大会

(10/17、頓原球場)

1回戦

三刀屋3・3出雲商業

※延長10回時間切れ引分け 抽選で2回戦進出ならず

ト入りのチャンスを逃してしまつた。

一方、女子は初戦突破はならなかったが、後半は五角の勝負。序盤に大きくリードを許したのが痛かった。

ソフトテニス

島根県高校新人戦

(10/30~11/1、江津市・浜田市)

【団体】

1回戦 三刀屋75・56浜田商業

2回戦 三刀屋48・56松江北

【女子】

1回戦 三刀屋42・77松江西

男子1回戦 三刀屋0・③横田

女子1回戦 三刀屋0・③安来

【個人】 男女ともに上位進出ならず

第39回島根県高等学校演劇発表大会 11/2~3

演劇

『Takashi』 優良賞

戦後70年 地元で永井博士の思いを伝える

脚本:亀尾佳宏(三刀屋高校掛合分校教諭)



永井博士のことを「知りながら、思いを感じながら」創り上げた舞台

9月の松江地区と出雲・石見地区の両地区予選を経て、9校が出場した標記県大会が雲南市加茂町のラメールで開催された。三刀屋高校は、長崎で被爆した雲南市出身の故永井隆博士を主人公とする『Takashi』を上演し、目標としていた4年ぶりの中国大会出場はならなかったが、見応えのある1時間の舞台を披露し、優良賞となった。

創作市民劇「Takashi」からの出発

「稽古が始まってからまず気が付いたことは、参加者の半数以上が永井博士のことを「知らない」ということ。(中略)そして参加者の全てが戦後生まれだということ。戦争のことも博士のことも知らない私たちが「永井隆」を表現しようとする。それならば「知ったふり」をするのではなく、「知らない」ことをテーマに書いてみようと思いました。「知らない」者たちが創る永井隆博士の芝居、私たちは造りながら知っていく。「知る」ことから始めようという芝居を創ろう、と。

右は、雲南市の創作市民劇にかかわった三刀屋高校掛合分校の亀尾佳宏教諭が、9月発行の三刀屋知己の会会報第22号に寄稿した『Takashi』一からのスタートの一文。三刀屋高校の発表でも、舞台の途中で出演者5名が、稽古を通じて何をどう考えながら演じようとしたかを素で語るシーンが挿入されていた。部員は小中学校時代の学習とは異なる形で博士の思いに迫ることができた。そして表現し、舞台から伝えてくれた。

戦前は九州から南の地域でしか確認できなかった長崎アゲハが、最近ではここ雲南でも目撃されるらしい。モヤモヤとした世相が続く2015年、郷里に何かを伝えたい永井博士の御霊が蝶に乗って飛んできたのだろうか。

▽三斎流 千利休の高弟「利休七哲」の一人で、戦国武将・細川忠興(三斎)を祖と仰ぐ流派。三斎は、利休の茶を忠実に伝え、茶養あふれる茶人で、「細川井戸」と称される高麗茶碗など数々の名器を収集した。松平不昧公の招きにに応じて三斎流を松江に伝え、不昧公自身もその精神に学んだという。三斎流は松江城鬼門にあたる普門院の住職によって受け継がれ、明治維新後は在家に移り、現在は出雲市の家元森山家が伝承している。

文芸

第17回文芸道場中国プロック大会 高文連文芸部門島根県大会

(11/6、ビッグハート出雲)

文芸道場中国大会

詩部門 伊藤さん(1年)が佳作

「僕とココロ」 三刀屋高校1年 伊藤華恵

ケラケラ笑う僕がいる 人を嗤った悪い僕 みんなみんな扉の中へ

目の前には鉄格子

その中に 僕のココロが入ってる

悲しく泣いている僕がいる 人を心配させちゃった

悪い僕は扉の中へ

目の前には鉄格子

その中に 僕のココロが入ってる

いらいら怒る僕がいる 人を悲しくさせちゃった

悪い僕は扉の中へ

目の前には鉄格子

その中に 僕のココロが入ってる

地味ではありません!地道なんです!三高文化部は輝いています!

箏曲

島根県高文連日本音楽部門コンクール

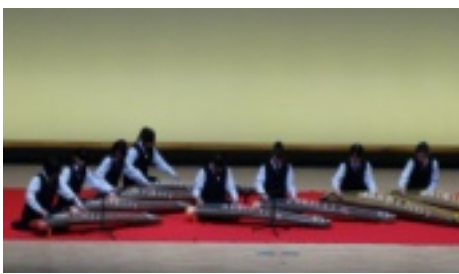
(10/30、ビッグハート出雲)

今年で14回目を迎えた標記コンクールがJR出雲市駅前のビッグハート出雲で開かれ、優良賞となった。

大会前の一カ月は、中間試験後も研修旅行・地域産業研究実習が続き、まとまった練習が確保しにくい状況だったが、全員が暗譜して演奏できたことが大きな成果だった。

茶道 (10/4)

松江城大茶会を見学



昨年より3名増えて演奏に厚みを増した箏曲部

いずれも兼部の2年生部員2名が、松江の秋の風物詩となった松江城大茶会を見学した。32回目となった今年の大茶会には12流派が参加し、部員にとっても大きな刺激と勉強の場になった。

本校では、大茶会にも参加する三斎流の外部講師福岡先生に月2回程度、玄関前の「蒼雲館」和室で指導を受けている。

錦織良成監督映画『たたら侍』を勝手に応援するシリーズ

斐伊川 昔物語 第16回 鬼怒川の災害に思う

9月の鬼怒川流域を中心とする大雨被害(関東・東北豪雨)を誰が想定できたのだろうか。近年発表されることの多い「記録的短時間大雨情報」が無かったにも関わらず、次々と積乱雲が帯状に流れ込む「線状降水帯」が停滞し、目を覆うような惨状となった。6億5千万トン、浜名湖の水と同じ量の雨が鬼怒川を溢れさせた。

「人と防災未来センター」所長の河田恵昭氏は、NHKのテレビ番組「クローズアップ現代」の中で、「昔の(防災の)やりかたが間違っていたのではなく、これまでと違うと気づき、これまでと違う行動をと

るべきだというスイッチが入るかが重要」と語った。

今回の大雨被害に関する報道で広く認知されるようになったのが「バックウオーター現象」と「越水破堤」だ。洪水時に大河川から支流の水が逆流し(バックウオーター)、あふれた水が堤防の外側を徐々に削り取ることで堤防の強度が弱まり、水圧に耐えられずに決壊するのが「越水破堤」だ。

実は江戸時代の斐伊川支流、たとえば雲南市大東町から加茂町にかけて流れる赤川でも同様の被害を度々経験したものと推測できる。赤川の水が斐伊川本流に排出できず、前述の二つの問題解決策として赤川下流部で築造されたのが本紙96号で紹介

した「鯉の尾」だ。

小原ダムと斐伊川放水路が完成した今、斐伊川下流域での洪水被害の可能性は格段に低くなったものの、斐伊川中流域及びその支流では、これまでと違う異常な降り方の大雨が降った場合、備えが十分とは言いきれない時代になってきた感がある。

想定外を想定せざるを得ない。

編集長は河川工学の専門家でも何でもなく、いたずらに不安をあおるうとしていくわけではない。行政の判断、避難勧告・指示は的確でなくてはならないが、逃げ場を失う前の避難確保のためには行政任せばかりならず、国が管理する一級河川だろうと、身近な河川および周辺環境については日頃から市民自らが注視する必要があるのではないだろうか。

昨年夏の広島市での土砂災害の記憶も新しいが、島根県は先頃、県内

3万2千か所あまりの「土砂災害警戒区域」の指定を終えた。この雲南圏域はたたら製鉄を可能とした原料砂鉄を含む風化花崗岩(崩れやすい真砂土)が広く分布しており、河川氾濫とともに土砂災害への備えを自覚しなければならぬ。なお、雲南市の「土砂災害警戒区域」指定箇所は、県内21市町村で最も多い約3,700箇所。防災ハザードマップで確認すると、本校体育館の裏手も対象となっている。さらに危険な「特別警戒区域」への指定は、地価の下落や宅地開発の制限につながるとして抵抗感が強く、島根県内での指定は江津市の912箇所のみだ。このような実態を知ること自体が我々市民にも求められる。防災分野でも一層、雲南市の地域自主組織(小規模多機能自治)のかかわりが必要になってくるのではないだろうか。

1年 授業 『大学』

1. はじめの挨拶・自己紹介
2. アイスブレイキング
3. 大学って何だろう?
4. ローテーションワーク
5. 学生の話
6. ディスカッション
7. 桜をつくろう
8. 振り返り・おわりの挨拶

大学の授業ではありません

ディスカッションで
大学とは何かを語り合う

島大生44名×1年生136名



雲南市教育フェスタ開催に合わせ、出校日となった11月7日(土)の午後2時間、1年生は島根大学の学生44名を迎えて「授業『大学』」を受講した。

大学の授業を受けるわけではなく、島根大学が企画するこのプログラムでは、高校生から学生への質問、学生からの経験談も参考にし、大学生が加わったグループディスカッションも交えて大学がどんな場所かを多角的に探った。

日常の学びのモチベーションを高めるきっかけともなり、島大生にとっても本校生にとっても、刺激の多い充実した時間になった。

1年前の錦織良成映画監督の講演に続き、この秋は山陰を拠点に活動する浜田真理子さんのコンサートを本校で開催しました(文化庁補助金により本校でのみ開催)。地域を元気にする講演&公演に触れる機会が多いのも三刀屋高校総合学科です。

浜田真理子 & フォノライトストリングスコンサート

松江市を拠点にライブ活動やアルバム制作、映画、舞台、CM、TVドラマへの楽曲提供など幅広く活躍するシンガーソングライター浜田真理子さんを迎え、今回はヴィオラ、チェロ、コントラバスという中低音弦楽器とフルートのスペシャルユニットが共演。

- 「phonolite strings」メンバー
- 水谷浩章(cb) 田中景子(vla) 梶谷裕子(vla)
 - 橋本 歩(vc) 太田朱美(fl)





三高新時代への胎動

地域でつなぐキャリア教育モデル事業実践校

(平成25~27年度、県教委指定)

シリーズ

地域とともに

第15回 1



地域に支えられ 地域と自分

の 今と将来 を見つめ直した秋

東京研修を受けて(2年)課題研究の中間発表

「雲南市教育フェスタ2015」

うんなん『宝』発見成果発表会に参加しました

実りの



出校日となった11月7日土曜日の午後は、2年生全員が加茂町のラメールで開催された「うんなん『宝』発見成果発表会」に出席した。三刀屋高・大東高・掛高の各校代表生徒がキャリア教育(調べ学習)の成果を発表し、三刀屋高校は10月の東京研修を受けてまとめた課題研究について2年生5名が中間発表した。

11/7(土) in ラメール



三高生は代表の5名がパワーポイントで発表

三刀屋高校の発表者5名のうち、難波夏里さんは「雲南市の魅力をもっと多くの人に知ってもらいたい」を課題研究テーマに発表した(写真下)。東京での自主研修で訪

2 地域イベント出演

デイサービスセンターみとやで

「デイサービスセンターみとや」にお邪魔して、演奏会をしました。施設を利用しておられる皆様や、職員の方が演奏に合わせて歌ってください、部員たちもとても楽しい時間を過ごすことができました。

10/24

吹奏楽

第36回みとやっこまつり



ご声援ありがとうございました

箏曲

10/25

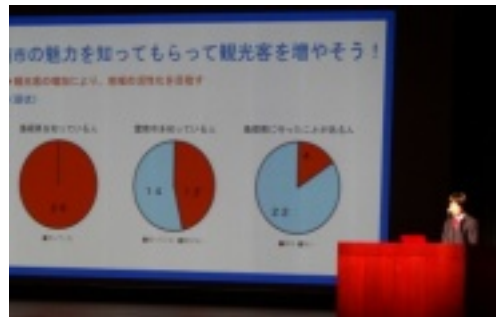
3

雲南市新庁舎で

「自分をつくる楽校」

10月編

雲南市内の社会人からも助言
6月にスタートした今年の「自分をつくる楽校」の最終回は10月17日(土)、運用が始まったばかりの雲南市新庁舎を会場に、ご存知アラーレの皆さん(東京を拠点にキャリア教育を支援する若手社会人グループ)のほか雲南市内の社会人にも加わっていただき、参加した三刀屋・大東の両高校生21名は興味関心のある職種の人を囲み、助言をいただきながら将来の夢や学習の意味について語り合った。



問した島根県のアンテナショップ「にほんばし島根館」での取材・助言を受け、都会地での島根県と雲南市の認知度を踏まえた上で、地元のさまざまな自慢できるものをコラボ

「雲南広域連携職員チャレンジ事業提案発表会」(11/2)
雲南地域の1市2町(奥出雲町、飯南町、雲南市)と広域連合の職員が連携する「雲南広域連携職員チャレンジ事業」の提案発表会が雲南市役所を会場に開催された。昨年度に続く今年のテーマは「高校魅力化」。4回のワークショップを通じて施策提案を練り上げたとのことだ。ぜひ、聞いてみたい。

さらに、日本を代表する広告代理店「博報堂」での取材からは、商品広報戦略・今後の社会でのソーシャルコミュニケーションの重要性を一層感じることに加え、あれもこれも
レイションして発信する工夫を具体的な事例をあげて紹介。また、魅力を分かりやすく伝える紙ベースやネット上でのマップ作りを提案した。

ではなく、伝えたいことや売りたいことを絞って伝えることの重要性を訴えた。コラボするにしても、マップを製作するにしても、そのためにはまずは地元を良く見つけ、再発見することが必要になってくることをあらためて実感したようだ。

2年生の東京研修については、10月28日付け発行の「進路だより」9・10月号をご参照ください。



当日は、小学生の学習グループや外国人の視察グループ(写真奥)も加わって、会場はいつも以上に熱気を帯びていた。

読書週間の関連企画

- 読書週間(10/27~11/9)にあわせて図書委員会が企画したイベントは
- ① 恒例の手作りPOPコンテスト
 - ② 初企画: 読んだ本のページ数で勝負! 「読書マラソン」
 - ③ 恒例の古雑誌市



図書委員会

11月11日(水)昼休みと放課後に実施
 ※POPコンテストと読書マラソン大会は11月末までの企画ですので、焦らずどうぞ気長に参加してください。

スモウルビーとは、島根県松江市を中心に活動する「Rubyプログラミング少年団」によって開発されているオープンソースソフトウェアです。プログラミング経験の無い小中学生でも、簡単な操作でRubyのプログラム作りを体験し、学習できるようになることを目的として、日々開発が続けられています。



「スモウルビー・プログラミング甲子園」は、高校生以下の若者向けプログラミング競技会です。スモウルビーを使って主催者が用意したゲームを攻略するためのAI(人工知能)プログラムを作成し、全国から集まる参加者たちとゲームで対戦しながら頂点を目指します。(公式サイトより転載)



10月24日(土)、本校のCAI教室で「スモウルビー・プログラミング甲子園」体験

鬼の舌震で絵画コンクール

美術

高文連出雲地区絵画コンクール

10/23(金)

出雲地区11校113名
 本校から13名が参加



鬼の舌震の遊歩道で筆を執る美術部員

標記コンクールが奥出雲町の観光名所鬼の舌震で開催され、出雲地区11校の美術部員が参加し、思い思いの場所を

セミナーが開催された。島根県の商工労働部産業振興情報産業振興室のご厚意によって実現したもので、生徒3人に対して6名の方にご指導いただいた(恐縮です)。

同甲子園の出場を目指してルビープログラミングを勉強中の同好会は今回、スモウルビーとスモウルビー・プログラミング甲子園の環境構築の仕方とAI(人工知能)プログラムの作成方法、命令コードやルールについての講習を受け、その後は実際にAIプログラムを作り対戦をする段階まで体験した。

写真

本校を会場に高文連秋季写真コンクール 10/22

10月22日(木)、本校を会場に標記コンクール(審査発表・講評会)が開催され、本校からは1、2年生部員が出品し、



本校の出品・入賞作品は、すべてデジタルカラー作品

次の皆さんの作品が特選、入選となった。

▼特選
 小池ななみ(2年) 2点

▼入選
 板持乃野可(2年) 2点
 廣戸 愛永(2年)
 田部 沙織(1年)
 廣戸 愛永(2年)
 加本 奈央(2年)
 小池ななみ(2年) 2点
 藤原 恋夏(1年)
 土江 梨緒(1年)

特選 「雨の日」
 田部 沙織(1年)

↑【編集長の勝手評】のどかな田園風景を背景に置き、ビニール傘の赤い縁取りがデザイン画的インパクトを与え、何気ない場面を引き立たせる。

祭出品推薦作品が決定される。

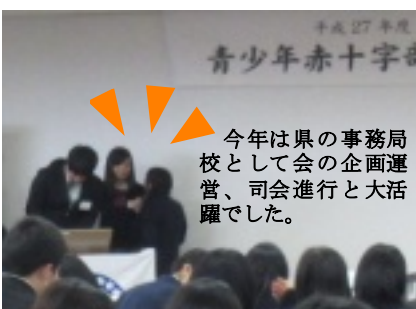
今後、春季と秋季の年2回のコンクールで特選となった作品を集めた県高校写真展が開かれ、来年度の全国高総文祭出品推薦作品が決定される。

JRC



県内のJRC(青少年赤十字)仲間が一堂に会する秋季協議会が10月30日、出雲市民会館で開催され、本校の2年生部員3名が出席した。今年度は県の事務局校として、協議会の企画運営から司会進行の

選んで風景画を描いた。実質3時間半という短い時間の中で油絵を仕上げるのは大変だったが、天候にも恵まれ、紅葉の名所を気持ちよく写生することができた(本校入選10名)。




事務局の企画進行と大活躍
 今年度は県の事務局校として司会進行と大活躍

大役までつとめ、他校の部員との交流も一層深まった。

また、10月3日(土)には、普段から定期的に慰問する三刀屋の特別養護老人ホーム「梅里苑」の長寿祭にもボランティア参加した。

| 日 | 曜 | 学校行事等 | 部活等 |
|----|---|-----------------------------------|---|
| 1 | 火 | 期末試験最終日 自動車学校入校説明会 |  |
| 2 | 水 | | |
| 3 | 木 | | |
| 4 | 金 | 3年全統センターPM模試 | |
| 5 | 土 | 土曜補習① | |
| 6 | 日 | | |
| 7 | 月 | | |
| 8 | 火 | | |
| 9 | 水 | 1年地域産業研究実習学年発表 | |
| 10 | 木 | | |
| 11 | 金 | 3年直前M模試 | |
| 12 | 土 | 学校開放 | バスケットボール |
| 13 | 日 | | 吹奏楽 |
| 14 | 月 | | |
| 15 | 火 | | |
| 16 | 水 | 6限授業 | |
| 17 | 木 | | 放送 |
| 18 | 金 | | 剣道 |
| 19 | 土 | 土曜補習② 3年進研模試 | 剣道 |
| 20 | 日 | | |
| 21 | 月 | 3年生三者面談 1、2年生保護者面談 | |
| 22 | 火 | 学校評価(生徒) 人権に関する意識調査(全校) 終業式 | |
| 23 | 水 | 天皇誕生日 学校開放 | |
| 24 | 木 | 3年冬期補習 | |
| 25 | 金 | | |
| 26 | 土 | 3年北予備F模試 | |
| 27 | 日 | | |
| 28 | 月 | 3年直前M模試 | 閉寮 バレーボール |
| 29 | 火 | | |
| 30 | 水 | | |
| 31 | 木 | | |

| 日 | 曜 | 学校行事等 | 部活等 |
|----|---|--------------------------|---|
| 1 | 金 | 元日 |  |
| 2 | 土 | | |
| 3 | 日 | | |
| 4 | 月 | 3年直前M模試 | |
| 5 | 火 | 開寮 | |
| 6 | 水 | 3年冬期補習 | |
| 7 | 木 | | |
| 8 | 金 | 始業式 課題テスト 学校評価(保護者回収) | |
| 9 | 土 | 土曜補習③ 学校開放 | 柔道 |
| 10 | 日 | | バスケットボール |
| 11 | 月 | 成人の日 | |

【男子】

| | | |
|-----|------|--------|
| 1位 | 松原瑠星 | 10分38秒 |
| 2位 | 須山泰成 | 10分40秒 |
| 3位 | 大森雄介 | 10分44秒 |
| 4位 | 難波康人 | 10分59秒 |
| 5位 | 藤原一樹 | 11分06秒 |
| 6位 | 石飛公基 | 11分23秒 |
| 7位 | 林 貫太 | 11分32秒 |
| 8位 | 高橋謙慎 | 11分34秒 |
| 9位 | 吉田遼介 | 11分36秒 |
| 10位 | 永井宏樹 | 11分41秒 |
| 次点 | 田本彪流 | 11分43秒 |

約3.2km 赤信号によるタイムロスあり

【女子】

| | | |
|----|-------|--------|
| 1位 | 周藤奈乃璃 | 13分27秒 |
| 2位 | 山根 七海 | 14分04秒 |
| 3位 | 松尾 美祐 | 14分07秒 |
| 4位 | 山崎アリサ | 14分11秒 |
| 5位 | 渡部ほのか | 14分15秒 |
| 6位 | 青木真衣子 | 14分30秒 |
| 7位 | 永見日奈子 | 14分31秒 |
| 8位 | 板倉 知香 | 14分33秒 |
| 9位 | 小林 大子 | 14分36秒 |
| 同位 | 福場 未唯 | 14分36秒 |
| 次点 | 山本 早季 | 14分38秒 |

前号で掲載した体育の授業でのロード走10傑の氏名と記録に誤りがありました。訂正し、お詫びいたします。なお、体育に限らず授業で実施する内容の順位を、校外にも配布する学校だよりにも表するのは問題との指摘も受け、本紙掲載は今年度限りとしてさせていただきます。

ロード走 最高記録ベスト10 (お詫びと訂正)



三高トピックス

ハロウィン直前の球技大会には、三高サインタが応援にかけつけました！
主役はジャック・オー・ランタン！



生徒はよくできました。先生は模範演技のあとでしょうか？

街頭指導へのご協力ありがとうございました



- 秋の交通安全運動街頭指導 9/14~18の朝
三刀屋4箇所→三刀屋地区PTA会員
木次4箇所 →木次地区1年PTA会員
- 下校パトロール 10/19~11/6の夕方
バスセンター・商工会館周辺→三刀屋地区PTA会員
郵便局・三刀屋保育所周辺 →木次地区PTA会員

2015 今年の三高を象徴する言葉は？

※ 候補、ご意見がありましたら、総務部までお寄せください。12月発行の次号で発表します！

さんこう
三高91年物語
 第18回 学校食堂オープン
 (昭和50年9月)
 世界情勢が下宿生活を直撃

↓追録三刀屋高校十年史(70年史)に掲載の朝日新聞より(S. 50. 7. 7)

(朝日) 50. 7. 7. 金曜日
敬遠される食事付き下宿
育ち盛りこの物価高

三刀屋高校

第一次石油危機から2年後の昭和50年9月、三刀屋高校の学校食堂が営業を開始した。その様子を当時の朝日新聞の記事を参考に紹介する。

(本紙99号の続き) 昭和48年の第一次石油危機による財政難で新和敬寮の建設が遅れる中、先にオープンしたのが

学校食堂(学食)だった。営業開始は昭和50年9月1日、2学期始業式当日だった。石油危機以来、食事付きの下宿をやめる家が相次いでいた。下宿代は3食付きで2万5千円が相場だったが、オイ

ルショックによる狂乱物価で「育ち盛りの年頃だけに、腹いっぱい食べさせてあげたいが採算があわない」という理由で下宿をやめざるを得ない状況が急速にひろがった。下の資料の通り、旧和敬寮に入らずに下宿生活を送る生徒の数が毎年多く、学校では下宿をやめたい家にお願

いし、食事抜きの間借りで何とか部屋数を確保する事態となった。こうした状況から、間借りでも食事の心配をしなくて済むよう、PTAが建設費6百万円を借り入れて学校食堂をオープンさせることとなった。体育館前の現トレーニング室の場所だ。保護者や地域の熱意に支えられて誕生した学食だったが、交通事情が改善されてその後10年間で寮生および下宿生が激減すると、学食経営も困難となって昭和62年1学期を



玄関前のユリノキ(11/3)

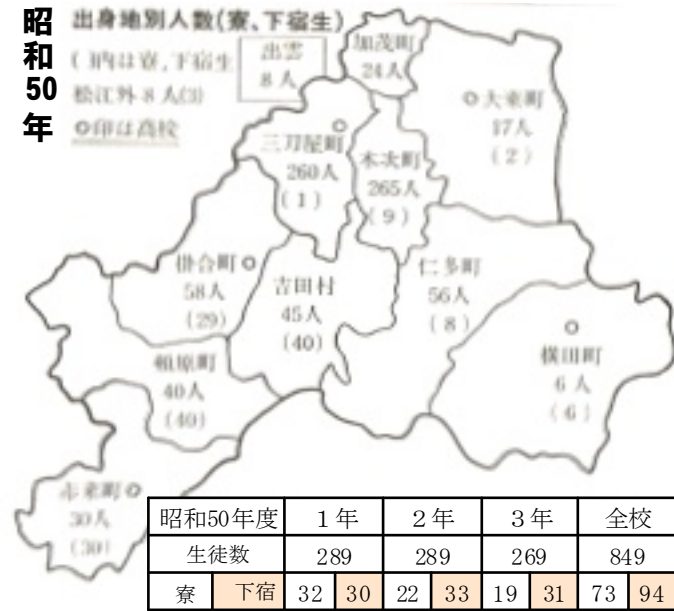
三高の秋を見に行こうよ紅葉

来年の紅葉をお楽しみに!



生徒会あいさつ運動

元気なあいさつを呼びかけ、後期生徒会執行部が朝8時から学校入口に立って、登校してくる生徒を元気な挨拶で迎えています。前期生徒会も取り組んだ運動で、初日の今月7日は3年生の前期執行部員も一緒に立っていました。



もって閉鎖となった。わずかた当時の関係諸氏に深く感謝12年間の営業だったが、経済状況の急変に素早く対応し、生徒の利便を図っていただいた。

謝辞後記

秋は校内のみならず、地域とかかわりを持った様々な場面で三高生は大忙しでした。実りの秋は生徒の皆さんも教職員も多忙感をぬぐえませんが、その分心地よい疲労感、充実感を味わう機会も多かったのではないのでしょうか。掲載できなかった記事が多く、申し訳ありません。(編集長記)

お詫びと訂正:前号の「三高91年物語」の中で紹介した飯塚元校長先生が、本校勤務の後には県教委を経て、県立松江高校の校長として着任されたのは昭和40年1月1日付けでした。お詫びして訂正します。



10月25日(日)に今年度の島根県高校新人ボート大会が開催されました。来年の夏、尾原ダムで開催されるインターハイで県勢クルーの活躍が期待されます。三刀屋高校からの選手出場予定は今のところありませんが、ボート競技の企画運営に関する生徒実行委員会の拠点校となって、全国からのお客様を迎えます。



新人大会でのレース風景(これはダブルスカル)